

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成31年1月17日(2019.1.17)

【公開番号】特開2017-181624(P2017-181624A)

【公開日】平成29年10月5日(2017.10.5)

【年通号数】公開・登録公報2017-038

【出願番号】特願2016-65205(P2016-65205)

【国際特許分類】

G 02 B 26/08 (2006.01)

G 09 F 9/00 (2006.01)

G 03 B 21/00 (2006.01)

【F I】

G 02 B 26/08 E

G 09 F 9/00 3 0 4 B

G 03 B 21/00 F

【手続補正書】

【提出日】平成30年11月29日(2018.11.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

上記課題を解決するために、本発明に係る電気光学装置の一態様は、ミラーおよび前記ミラーを駆動する駆動素子が形成されたチップと、平面視で前記ミラーを覆う透光性のカバーと、前記カバーと前記チップとの間に位置し、前記チップの一方面に接するスペーサーと、を有し、前記一方面の前記スペーサーと接する部分の全てが、第1熱伝導率を有する第1物質からなり、前記スペーサーは、前記第1熱伝導率よりも高い第2熱伝導率を有する第2物質からなることを特徴とする。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 6】

[電子機器としての投射型表示装置]

図1は、本発明を適用した投射型表示装置に設けられた光学系の一例を模式的に示す説明図である。図1に示す投射型表示装置1000(電子機器)は、光源部1002と、光源部1002から照射された光源光を画像情報に応じて変調する電気光学装置100と、電気光学装置100で変調された光を投射画像としてスクリーン等の被投射物1100に投射する投射光学系1004とを有している。光源部1002は、光源1020と、カラーフィルター1030とを備えている。光源1020は、光源光として白色光を出射し、カラーフィルター1030は、回転に伴って各色の光を出射し、電気光学装置100は、カラーフィルター1030の回転に同期したタイミングで、入射した光を変調する。なお、カラーフィルター1030に代えて、光源1020から出射された光を各色の光に変換する蛍光体基板を用いてもよい。また、各色の光毎に光源部1002および電気光学装置100を設けてもよい。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0044

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0044】

なお、本例では、スペーサー61とカバー71とが同じ物質からなるので、スペーサー61とカバー71とが一体の封止部材75を用いてもよい。